行 谿 昭和 31 年 9月1日

印刷 松浦印刷所

木造二階建で、

耐寒設備も施

新校舎は総坪数四十二坪、

| スクールである。

昨年八月二十七日着工した打波小学校小池分校が、 去る八月二十日、総工費百六十四万八千円を費して カ年ぶりに完成した。(写真は小池分校の新容)

地元民の喜びも一しお

に、部落民の喜びはまた一し 築は地元民の宿願だつただけ

なお小池部落は京福大野駅

さらに

では最高の地点に建つモデルーきの授業は特に憂慮され、新

こらし、標高八九〇米、市内 されており、近代建設の粋を

の老朽はなはだしく、強風ど めて建てられたもので、校舎 この分校は大正十二年に初

来ている。

とともに文化の恩恵に浴して し子であつた同部落も、市制 至つて便利となり、時代の落 られ、昨年七月完成、交通も より奥地開発林道計画もたて 鳩ガ湯からは、昭和二十五年 から三十四粁もあり、

谿 行 福井県 大野市役所 編 集 人 野市役所総務課 広報係 電話代表大野900番

たため乳熟期の早稲や出穂期の 例年の台風シーズンより早かつ 八月十七日襲つた台風第九号は

中稲などに大きい被害を与えた

米の减收はほゞ二千石 籍にて一十八日撮す (写真は倒伏したイネー中据地

被害面積は一

千町歩に及ぶ

は、各地区 お盆の十五

よつて、今年もまた昨年 を分たぬ指導陣の努力に いたが、この夢は一瞬に の粒々辛苦、さらに日夜 と営々として働いた農民 して台風が持ち去つてし に次ぐ豊作を予想されて 七月下旬からの高温多照 天候は根づきを良好にし 越前平野に次ぐ米どこ 植付以来順調であつた

しょり ズムに乗って

V) から約千五百 館が主催で、 地区では公民 り展げられた 庭に夜八時頃 富田小学校校 が、ここ富田 踊り大会がく とも盛大な盆

一の校庭もせまくさえ感じられ 三重の輪が立ち、さすが 名が集り、二

農作業に追いまわされ、家事 の手伝いに忙しく、娯楽機関 りらしい親子らが入り交つて までの家族連れ、これに里帰 八歳の子供から、 が、これが実を結んで、七し 盆踊りの講習会を開いて来た 健全娯楽の一つにと今春から に恵まれない農村青少年に、 これは、雪消えとともに、 五十歲前後

足した。ここで土壌を科学的 られ、すでに農業実験室が発 な対策を講じている。 の一つに農林振興計画がたて に分析検査し、検討を加えて すなわち市政三大重点施策

にくいとめるため、 らにこのような被害を最少限 処に乗出すと共に、今後もさ 市では逸早くこの被害の善 次のよう

育させるよう計画されている

町歩といわれ、 町歩、これによる減収約二千 收となつた。 其の他の農作物もかなりの减 石、葉煙草は二十二町五反歩 稲の倒伏七百 偏向を避けて素直に作物も生 無駄のない施肥基準により、

被害は約一千 誤りのない処方箋が作られ、

いかにも楽しげであつた。





う太陽哲学(?)には賛成出来 といつてしたい事をするとい たのが太陽族というわけにな ない ▼或る家庭で太陽族映 点も多々ある。しかしそうか 持を察してやれば、同情する かになる。このドカンとやつ ドカンと爆発するか、どちら ペシャンコにつぶされるか、 たえずおさえられていると、 体の知れない眼に見えぬ力に 事になる。 普通の人なら、得 会には太陽族が生れるという 日本のような封建色の強い社 れたが、この論法でゆくと、 庭から生れる」と話しておら 先日ある会合で、

某大学教授 検閲を考えているらしい 団体から製作禁止の声が上る をなげている。PTAや婦人 は「太陽族は封建色濃厚な家 し、文部省あたりでも、映画 近頃″太陽族映画 ″が話 ▼だから太陽族諸君の気 V

(写真は楽しい盆踊) 完納が築く **楽しく働き** 住みよい大野市 笑顔で納税 理解。これこそとうといもの である ▼話しあつた上での れの立場を反省しあつたそう 沈黙は美徳と教えられた。 である。

▼日本人は昔から

色々の

しかし時には沈黙から反目

常任委員は一 だけ 員査

地方自治法 改正の概要 のとおり なつた主な改正点は次 九月一日から施行と

の市町村は四つ以内となつて 員会となる(前は八つの委員 年四回以内において条例で定 ことになり、人口三十万未満 会)人口に応じ条例で定める める回数(前は年四回招集) 大野市は四つ以内の常任委 △ 議会の定例会は毎

△ 議員が議案を出す場合、 件に限ること。 審議は議会から付議された事 議会閉会中の常任委員会の 識

市

報

△ 議員は、それぞれ一つの常 員定数の八分の一以上の賛成

普及している高流し

10

市街地から離

れた農家では、

改善がされてお ほとんど台所の 記帳熱は低

()

100

任委員にしかなれない。 **請負関係にある法人の役員と** 員は、その公共団体(市町村) に対し請負すること、および 議員および行政委員会の委

△ 監査委員の任期が三年にな △ 議員は自己、または、近親 者の従事する業務に直接関係 のある事件については、議事 なることが出来ない。 から選任された委員は議員の に参与することが出来ない。 た。(前は二年)議員の中

議会の議員を除いては、

その

間は家事の中でも特に長く、

毎

な体を使わないように、低すぎ

無駄がなくて良いであろう。

非常勤の職に対する報酬は

ある。 特別の定めをした場合は別で 勤務日数に応じて支給しなけ ればならない。しかし条例で

△ 地方公共団体の予算の繰越 は出納閉鎖後三ヵ月以内に改 使用の制度が認められた。 められた(前は一ヵ月以内)。 收入役から長に出す決算書

基 9月15日現在で調製 本選挙人名簿

する基本選挙人名簿の調製資料 毎年九月十五日現在で、罰製

> の上提出していただくことにな 名簿登録資格者調査書」に記入 から選挙有権者を「基本選挙人 として、従来どおり市内全世帯

下さい。 ら、所要事項を記載して九月二 十日までに区長さんに差出して じてお手もとに配付されますか 近く調査用紙が区長さんを通

洩れのないよう特に御注意下さ なお同居人、下宿人等の記載

たくしぼつてふきますと、と

この中でひたしたフキンをか

て重ソウを茶さじ一ぱい入れ 中をふく時に、水一升に対し

戸棚の中の清掃法

戸棚の

は次のとおりであります。 1 昭和三十一年九月十五日現 年六月十六日以前よりの在住 有するもの(即ち昭和三十一 在で三ヵ月以上本市に住所を 選挙人名簿に登載する資格者

1

どります。 まがつてきます。これは湯に しますと簡単にも ら、水につけて冷 二十分位浸してか つかつているうちにだんだん ナイロン歯ブラシの毛は、 ナイロンブラシの毛

2 民 十一日以前の出生者) 現在で満二十歳以上の日本国 昭和三十一年十二月二十日 (即ち昭和十一年十二月二

台所改善と記帳農家調 (昭和30年12月 薄記をつ けている 改賞された 英一波 し 対当する人 野一・五町 五百二百 五元

れらの台所を改善するために、 力し、台所の改善や高流しの励 市費を投じ普及改良事務所と協 消耗は実に甚だしい。市ではこ 行に当つている。

のエネルギーの 立ち働く主婦達 い不潔な台所で れて帰り、薄暗 らず、野良で疲

すなわち主婦が台所で過す時 な姿勢や、物の上げ下げに余計 日必ず立つて仕事をしなければ ならない場所であるから、無理

その目的である。 る台や高すぎる棚を改善し

に示して見た。 れを耕地の広狭別にグラフ 意識はあまり高くない。こ る農家は八十七戸あり簿記 に改められている。現金出 の中、百六十五戸は高流し ると総農家数二百四十六戸 改善して行こうというのが て、能率的に整頓のよい、 納簿、作業日誌をつけてい しかも明るい清潔な台所に いま乾側地区を調べて見

ること。

正直者が馬鹿を見ないようにす 年賦で保険税に加算徴収して、 者がある場合は、三ヵ年以内の

国保の再開について

にたえない。国保では普通患者 ১ 保険を中止していることは遺憾 ち、旧大野町だけがこの重要な 体の仕組である。合併町村のう 医者の取扱がちがらように もらえるというのが大

> てもらいたいものである。 ぬような事態を起さぬようにし たがまた暫くで中止せねばなら

(佐々木恒吉)

十分検討して、せつかく再開し

死亡等問題であろうと思うが、

この外転入者の取扱、

出

婦 Ł

魚類につけて食べます。ねり 味噌の基準は味噌に、半分の てもきれいになります。 栄養みそ 毎食の野菜類や

これに色々の材料 十五分程ねります 々加えて、強火で 砂糖を入れ、水少

経験を生かし、特に左記事故に

再開に当つてはさきの苦しい

ついて考慮していただきたい。

一、保険税については、人数

もあるのであるから、一日も早

ど全額補助、療養費の一部補助

く再開してもらいたい。

くない。その上事務費のほとん ないが、現今はそんな心配は全 誤解している方があるかも判ら

ります。たとえばどぼうみそ を加えて変つたねり味噌を作 みそ、するめみそ、肉みそな からしみそ、胡麻みそ、大豆

どです。 場合、半額で治療して 不幸にして病気をした 納めることによつて の精神によつて成立つ ても、規定の保険税を 度も医者にかからなく 国保は市民相互扶助 家族全員が健康で一

定の制限をすること。

さきの保険料などで滞納

に適切な尺度を設けること。

入院費については当分

ならないよう、資産家にのみ膨

割において大家族の負担が重く

大な税がかからないよう、とも

教育委 改正のあらまし 員 会 法

ているから、良く相談した方が 活改良普及員が出張指導に当つ なお台所改善については、生 町村及び学校組合に教育委員会 ▲委員会の設置 都道府県、 教育委員会法が改正され、十月 び運営に関する法律と銘打つて 六三号で地方教育行政の組織及 た。改正の重な点をみよう。 一日から施行されることになつ 昭和三十一年六月、法律第一 市

を置かなければならない。 ▲委員の選任(任命制に変更) 当該地方公共団体の長の被

2 ることができる。 委員の任期は四年で再任す (以下次号)

ら地方公共団体の長が議会の し識見を有するもののうちか 高潔で教育学術及び文化に関 選挙権を有する者で、人格が 同意を得て任命する。

よつて、

交通事故や不良化から

更に火災や地震などの非

一いる。(写真は子供のひろば)

向上が休みなくおし進められて

営農クラブと若婦人クラブが

村づくりにコツコッと励んでい コンビになり、文化的で円かな

る吉部落を尋ねてみた

の鳴き声が聞え、立派な鶏舎が 部落にはいると、あちこちに鶏 た平和そのものの土地である。 まれて一見自然の景観に恵まれ

がいしく野良で働ける作業衣の あり、若婦人クラブでは、

研究。改良カマド。高流しの励

壌改良、水稲品種の共同試験、

菜種の共同育苗圃の設置などで

大

16)

国道、福井

-松本線

立ち並んでいる。

してはいると、清滝川 に真新らしい吉村橋が

常秋範夫さんを尋ねると、

営農

この会の推進役を努めている

を東中部落から南にさ

明るい市民の動き

は毎年、継続事業で河 かけられている。ここ

業は着々 進められ

画整理事

良い子達へ

れている公園または緑 この内都 市計画法 ているが

遊び場を設け、運動やレクリエ 総工費三十四万円で、今年六月 ーションの場を提供することに 十五日着工、去る八月十五日一 裏児童公園(三百四十二坪)が 地の施設としての山王 これは児童や青少年に適当な に定めら |場所として大きな役割を果すも 出来る見込であり、市民福祉の ジム、便所などの施設は明年度 棒、砂場、ベンチ、ジャングル のである。 常の場合には、防火地帯や避難 なおシーソー、ブランコ、鉄



即ち淡路甲高、

ある。 かしいので、特に工夫が必要で 晩生種でやや早く九月早々種ま 来作られた泉州黄で九月三日頃 きする。発芽や育苗はややむず

秋まき甘ランの種まき

種で、四月末から五月初めの早宮士早生、中野早生などの早生 トゥ系の良い積子を用いる事が ると、トウだちする。特に不抽 頃が適期、あまり早播きに過ぎ 採りを目標とする場合は十五日

玉ネギの

種まき

夏まき甘らんの定植

定植時期は、上、中旬であるが 早く植える事が大切、初冬で七 り遅れると、不結球や軟球が多 日頃、野崎夏まきで十五日頃よ 裏作では、 肥は元肥を重点とし、特に水田 くなつて成績があがらない。施 水田裏作の場合は、出来るだけ 堆肥も金肥も三割位

多くするようにする。

先月種まきした白菜や大根は、 白菜、大根などの管理

畜産人に明るい話題

中据の三宅守氏

トコ (三三)は熱心な酪 厚飼料の多飼から

情操が高められていく。 期には生活改良普及員の大家さ 行。イロリの廃止。その他農閑 習会などが催され、豊かな食生 活を目ざし明るい家庭生活への んを講師に、料理講習、 また部落の中央に、今春三十 生花講

吉部落の若婦人クラブ 鶏鳴も高らかに

十七軒の農家と、お寺 ぐ近くが吉部落で、二 頼もしく感ぜられる。 延々と続く広い堤防も 川改修工事が行われて この橋を渡ると、す 業を営む者のほとんどがメンバ クラブは昭和二十八年二月一日 ーになつている。 十二月一日に結成されたといわ れ、この部落の三十歳前後で農 若婦人クラブは昭和三十年

場が出来上り、

一軒ある小さな部落である。 眞名川と清滝川にはさ このあたりに多い秋落水田の土 営農クラブ活動の主なものは

労働も節减されて、

水稻前作に成功

れらをカバーして行こうとホワ 牧草や飼料作物をあたえて、こ き下げるためにも 乳価のコストを引 起る弊害をなくし ンの作付を計画

かい

れが実現すれば、婦人の過重 い理想の村がつくられるであろ 設置も計画されているので、こ 一万円を投じ集会所と共同作業 更に簡易水道の 明るい楽

> 虫の駆除を徹底して行らことが 大切である。 注意し、キスジノミ虫やアブラ 間引きや追胞が遅れぬよらに、

秋野菜の病害虫

1 剤三キロもよい。 水和剤の一、〇〇〇倍液、同粉 を行う。DDT二〇%乳剤、同 発生始めから二~三回薬剤散布 ロ、またBHC○・五~一%粉 剤二・五%のものを反当り三キ ロチョウ 「サルハムシおよびモンシ

を行つた。 での間五日目 今春四月十一日から五月一日ま 毎に種のまきつけ

九百九十貫(普通栽培で反当二 技師や関係者などが集つて、刈 取試験を行つたがこれによると 明るい話題となつている。 たので、このあたりの畜産人に て収穫が可能であることが判つ 千五、六百貫)水稲の前作とし 草たけは四尺余にも延び、反収 七月三日、普及事務所の前田

である。 **濃厚飼料による乳価の高騰をさ 姙症、其の他の弊害を取り除き** しようと種々研究してきたもの け、乳質の良い低廉な乳を生産 起る消化不良や下痢、便秘、不 三宅さんは濃厚飼料過多から

きな功績を残したことになった 県下畜産界の自給飼料開拓に大 成功、この栽培については共に 水稲後作にデントコーン栽培が 昨年十月に庄林の北川さんの (写真は三宅さんの飼料畑)

2

発生のつど、TEPPの二、 ④ 「アプラムシ」 発生始めから二~三回、 五斗、同五%粉削三キロ、BH 更にふた葉の時と本葉三枚位の 薬剤は種まきと同時に散布し、 ること。 布する。白菜には八匁液を用 八~十二匁の溶解液を三回位散 月頃から銅水銀水和剤水一斗に 生地帯ではやや遅まきする。十 ものに発生が多いから、 そ菜類の病害は主として早播の ⑤ 「はくはん病や腐敗病」 デリス剤、 C 一%粉剤の三キロ散布もよい 乳剤の七〇〇倍液を反当り四~ 散布する。その他ニュチン剤、 一%粉剤反当り三キロ散布する ときと三回まく。DDT二〇% ○○倍液又はBHC一%粉剤を 「カブラバチ」 除虫菊剤などもよい 例年発 0

簡易水道 施 進 0 生活のパ 設は文化 水道施

染病発生の原因ともなる。 川水や井戸水の汲水作業は、労 力の消耗と時間を費し、また伝 ロメーターともいわれている。 い家庭生活が営めるように、各 これらの不安をなくし、

西勝原、犬山、下黒谷、 り決まつた。上打波、 度簡易水道施設計画が次のとお は二百六十八戸である。 れて来たが、いよいよ三十一年 地で簡易水道施設が着々進めら 下打波、 中据 . 数

明るい生活 国保から

おさめ、

(4)

上旬 談会 △大野地区国保再開座

十五日(土) 六 日(木) 一十四日(土) 十八日(水) ア予防注射 上打波校 ア予防注射 商店街及び商店診断 予防注射 △木工関係講習会 △としよりの日 於大野公民館 △五簡ジフテリ 於五箇公民館、 大野ジッテリア 於大野公民館 △大野ジフテリ えて、市長さんらが今年丁度 井あき(下打波)

大野地区遗族大会 十名を表 彰

市

報

問することになつている 九十歳にあたる次の方々を慰

第六回目のお年寄の日を迎 市長さんが慰 七人の高齢者

三番下二 神明下二

長谷川高松 南部ふく

約四百五十名が参集して大野地 上次の二十名の表彰があつた。 区遺族大会が盛大に行われ、席 八月二十四日有終南小学校で

> 昭和 容日

> > 西

木下たま 筒井はる

山本力松

松原こま 広瀬宇一

野

大

始められたか記録されていない

らん学館設立、

大野病院の設立

浪人騒動の後始末、

樺太経営、

寺隠居、

同和寺母、

岩本院母の

小山

西谷、

今から約三百五十年前、松

大野藩の敬老会はいつ頃から

平直政公時代に、養老の典のあ

つたことは史実に明ら

の施設は出来るだけ省略節約し を使つた年である。しかし一般 京洛の警備等で容易ならぬ経費

十四人であつた。

又同日午前、町方七十歳以上

招かれ、

五人、諸士以下五十五人、計八 四人、御家中では諸士以上二十

かである

直政は福井藩祖松平

だけは例年の通

藩の敬老会

直政公時代に

たが、養老の典

石田とめを(阿難祖地頭方) (麻生島) 松田与平治(上丁) 風林隆樹(伏石) 松山茂治(上 前川弥一(四番上) 牛島みさえ ▼県遺族連合会長表彰者 △ 表彰された人たち (中野) 印牧弥右衞門(西山) 桜

原) 明頓とく(中据) 桜田平 加子(田野) 中村イツエ(牛ケ (横枕) 寺脇きん(七板) 老とよ子(中荒井) 鳥山千代子 座中) 酒井まつの(水落) 養 田中千代(大和) 治(金山) 幅口つる(上打波) ▼大野市遺族会長表彰者 森田ブン 山脇

> 玉木きら(阿難祖地頭方) 許可を受けてか 使 用 は b

道

路

の

す。 してあるため、 道路を使うには許可がいりま 勝手に使用したり物を放置 通行中の人や車

郷土 中学十に v ろ は 小学十五 か 3

た

ž



大野市内には独立中学五、併設中学五、分校 と、小学校が十五、分校が十一あります。 生徒数は、中学校三、 三三〇人です。

さい●○は分校です。

図の●は独立中学●は併設校、○は小学校、

通行人にめいわ

が、路上の遊ぎ運動は、大人も りない事に原因もありましよう とが甚し 適当な遊び場がた

以上合計すると、 人となつている。 人にも同様の御沙汰があつた。 千三百九十八

価その他、物価高に相成、 (利忠公) にはかねてより、 近年時勢追々困難となり、 殿様のことば

ます。 から、市民の協力を要望してい い、事故の防止に当るそうです 遊戯や物の放置について、大野 が大変迷惑し、事故の原因にな 警察では、強行な取締りを行な つています。今後、道路上での

時には事故を ひきおこして 通を妨害し、 あります。交 をさせた事が 通行人にケガ でキャツチポ 大人が道路上 ルをして、 つい先頃、

子供も断然やめましよう。

見、羽生、味見)の二百九十七 七人、下の部(下庄、乾側、芦 人、計六百九十四人を明倫館に 穴馬) の三百九十

縫原—孫右衞門母、友江—長右 越前町等の十三部落)の八十九 十匁をくださつた。ついで西潟 衛門、大久保-重右衞門にも銀 (現在の丹生郡朝日町、織田町 同様の恩典をいただい 計石一佐太夫父 母、仁位一与惣 上笹又一与次郎 右衛門父、下大 九十歳以上の れ候。重々厚き思召を恐察し有 **手元を節約せられ、これを以つ** 誠に気の毒のことに候、大殿様 生を楽しく暮すことも出来ず、 がたく頂戴致すべく候。 て老人たちへ銀一包ずつくださ 人気も穏ならず、老人どもも余 なお当年土用中降雨つづき、米 に旧冬は水戸浪士の大騒動起り 源利恒 自然 御

門一重右衛門、

]1[捨てないように へ汚物や危険物

水である。近時、 庄地区にとつては主要かんがい旧大野町を貫流する川は、下 の流域一般者の注意を望む。 に生きるようにしたいから、 注意しあつて、 このようなことについて互いに 物に相当の被害を与えている。 いれ不衛生を来たし、 は耕作者を非常な危険におとし これに染色剤、油脂類の放流 芥、電球、空びんなどの危険物 旧大野町を貫流する川は、 明るい環境衞生 川に汚物、 (下庄A生) また農作 座



迷惑を及ぼす

版谷遊園地」 私の提

の箕面を思わせる。 低の費用で愉快な処として大阪 市の中心部より僅かの時間、 に風呂場の一軒もあれば、尚 最良の休息所になると思う。 ともなり、鮎釣人や水泳者には 化住宅でも作れば立派な避暑地 もあり、南側の崖を背に簡易文 の立地条件に恵まれ、バスの便 人工滝も出来、小遊園地として までの間にある断崖、 度に思い出すのは、松丸に出る 九頭竜川に懸る阪谷橋を通 木橋を、少し手を掛ければ 谷川、 最 更 巨 更

るが如何。 現不可能なことではないと考え 先ず地元民の協力があれば、 にらかの施設が出来ると思うが 園の一部だから、 前記の場所は、 将来は必ずな 県立公

る凶作多難の年でも行 以来この儀典はいかな 秀康の第四男である。 りに行つた。 六月二十九日、 すなわち同年

残つているが、今慶応元年の一 例をあげて見よう。

同年は大野藩としては多額の

つたようである。

養老の記録はかなり

経費を要した年であつた。水戸

された。 あり、 部屋に招かれ、殿の様御挨拶が 七十歳以上の老人を御殿の御用

先ず藩内の社寺方、御家中方で 銘々に金五十疋ずつくだ 九十歳以上の横町宗次郎後家に り、銀五匁ずつくだされ、特に かれ、同様殿様のおことばがあ の者五百三十一人を明倫館に招

社寺方では善導寺当住、

本伝

銀十匁くださつた。

同日午後は在方上の部 (上庄